

織物のまち八王子

圧巻の八王子まつり

過去から未来への想いが紡ぐ

みんなの桑都物語

#日本遺産の活用・発信

#山車の保存修繕

#八王子城跡ガイダンス施設

#八王子車人形などの
伝統芸能

#日本遺産を活かした
観光推進

#日本遺産センター
八王子博物館(はちはく)

国の「重要無形民俗文化財」

年間登山者数世界一の高尾山

日本遺産プロジェクト

■ 過去から未来への想いが紡ぐ みんなの桑都物語

織物のまちとして栄え、“桑都(そうと)”と称された八王子。桑都の物語は、戦国時代に関東を治めた北条氏の名将・北条氏照(ほうじょううじてる)が、八王子に居城を築いたことから始まり、霊山・高尾山への人々の祈りが、八王子市に育まれた豊かな文化を未来へと紡いでいくストーリーです。

令和5年(2023年)11月に「東京たま未来メッセ」で開催を予定している「日本遺産フェスティバル」に向け、豊かな伝統文化が育まれてきた八王子の機運を醸成してまいります。

■ プロジェクトの特徴

令和2年6月に都内で唯一となる「日本遺産」の認定を受け、本市が持つ歴史文化の魅力を市内外に発信します。特に日本遺産の構成文化財である、国指定重要無形民俗文化財の「八王子車人形」等の伝統芸能を長く継承していくため、後継者の育成や技芸練磨に対して支援を行うほか、市指定有形文化財を良好な状態で永く後世に伝承するとともに、文化を向上します。

また、日本遺産に関する情報発信を行う「桑都日本遺産センター八王子博物館」と「国史跡八王子城跡ガイダンス施設」を充実してまいります。

■ 担当者の声



八王子市は、古くから養蚕や織物が盛んだったことから、桑の都、「桑都(そうと)」と称されていました。霊山・高尾山への祈りとともに、今もこの地に育まれている、桑都・八王子の豊かな歴史文化を語るストーリーが、日本遺産に認定されており、本市では、日本遺産を活用して地域の活性化に取り組んでいます。令和5年11月には、東日本で初めてとなる「日本遺産フェスティバル」を開催します。今後も日本遺産制度のもと、歴史的・文化的資源を活用した取組を進めてまいります。

企業の皆さまからの寄附は、桑都の魅力を人々に伝えるため、活用させていただきます。